



海上守護の霊峰として信仰の厚い、松尾町の青峯山正福寺で、2月12日(旧暦1月18日)、御船祭りが行われ、漁業関係者など多くのかたが海上安全祈願に訪れました。

境内には全国各地から奉納された色鮮やかな大漁旗が所狭しと並べられ、たくさんの露店なども出て、祈祷を受けたり、お札やお守り、漁船に飾る「青」の文字の入った旗を求める参拝客などで、終日にぎわっていました。

海上安全を願って



1月31日、「熊野灘を震源とする震度7の地震が発生し、大津波警報が発表された」という想定で、平成20年度鳥羽市総合防災訓練が石鏡町で行われ、町民や関係者など、約480人が参加しました。

午前9時55分、市内全域への緊急地震速報放送を合図に訓練は始まり、パトカーや海上保安庁のヘリコプターも出動して、避難訓練が行われました。

そのほか、消火訓練や起震車体験、救護訓練、自衛隊による炊き出し訓練なども行われ、参加者は各種の訓練に積極的に参加していました。

また、この日は同想定のもと、錦町と本町でも独自の防災訓練が行われました。

いつか起こり得る災害に備えて

まちの話題 1月号



2月14日、新鳥羽小学校の一般公開が行われ、市内外から300人を超えるかたが見学に訪れました。

午前中は、授業参観や開校記念コンサート、教育講演会が行われ、午後からの一般公開では、旧鳥羽小学校が新しかったときを知っているという60年以上前の卒業生も見学に訪れ、「自分たちの小さいときを思い出しました。本当に素晴らしい学校で、こういう環境で勉強できるなんて、うらやましいですね」と、懐かしそうに話してくれました。

素晴らしい学校ですね



鳥羽の温泉の活用について考えようと、鳥羽温泉振興会主催の「新春温泉フォーラム」が、1月29日、鳥羽商工会議所かもめホールで行われました。

講演では、温泉地として注目を集めている滋賀県大津市のおごと温泉観光協会副会長の佐藤裕子さんが、おごと温泉の取り組みや成果について紹介、パネルディスカッションでは、佐藤さんら3人が元気な温泉地の秘訣について、意見交換をしました。参加者は、「鳥羽にも参考になる部分がたくさんあったのではないかな。今後、鳥羽の温泉にも注目したい」と話してくれました。

活力ある温泉地を目指して